

地域産業観光

碓氷製糸場 2019.08.06

関東若手市議会議員の会



碓氷製糸場

日本で唯一現存する繭玉から製糸をしている、まさに最後の砦

現存する製糸工場で国内最大の大きさとなる

- ▶ 生糸及びその副産物の製造販売
自社製造生糸を原料とする絹製品の製造販売
蚕種、人工飼料、養蚕専用物品、桑苗等の受託販売
- ▶ 年間62 t の繭を収納しており、生糸は10.2 t の生産をしている

碓氷製糸場について

- ▶ 日本で唯一の製糸工場として、工場見学の受け入れや各種体験型観光を行っている。
これらには日本の文化継承の為にも役立っている。
また上皇后陛下も毎年こちらに糸を紡ぎに訪れている。
- ▶ 自社製品を織物だけでなく美容などの製品化をしている。

観光産業化と文化継承



繭玉から糸へ

繭玉をお湯で洗浄しながら1つ1つ紡いでいる。その際に製品の品質やランクによって分けている。

1つの繭玉で1500mほどの糸がとれるそう

- ▶ 観光産業として自社の収益化を図ることは株式会社として必要なことであり、それと文化継承を合わせていく事で、2つの意味のある観光産業というものを体現できている。
- ▶ 日本で最後の砦となってしまうっており、周りからの継続への期待も受けつつ、製品に差がなく低価格の中国産と戦っていく事は非常に厳しいものとも予想できる。
- ▶ 文化を残しつつ、収益化していく事また地域活性を体現していることは、産業構造の理想的な形であるが、この形づくりを推進していく為には、個人消費者それぞれが安いものに手を出すのではなく、国産品を使うことで職種は違えどまわりまわって自身の収益をあげられるというような理解が必要である。

総括